



回収回答数 166 回収率 80.2%

保護者の皆様におかれましては、ご多忙の中学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございます。

どの項目もB ややそう思う→2 以上の平均的な評価をいただいておりますが、グラフの最小値を2として表示しますとこのようにいくつかの項目でわずかに落ち込みが見られます。①基礎学力の徹底 ③外国語教育⑦児童に寄り添った指導⑧いじめへの対応 の4項目です。これらはどれも本年度重点課題として取り組んできた内容であり、厳しい評価をいただいたことは重大なことと受け止めています。課題を分析し改善策を早急に考えていく必要があります。4項目について具体的な改善策を探していきたいと思っております。

① 基礎学力の徹底

知識基盤社会と言われるこれからの生きる子供たちにとって、学習を通して問題解決力を高める資質が私たちの親の世代以上に求められます。思考力の基となる知識を得て、そこから得られる考えを表現するといういずれの場面にも言語活用能力が活かされます。子供は時として乱暴な言葉を遣うことがありますが、それは自分の考えを的確に言語表現できていないことに起因しており、相手の気持ちが理解できなかったりすることは実体験を伴わないことを想像する力が欠如しているからにほかなりません。基礎学力の徹底はどの時代にも学校がやるべき最重要課題です。具体性をもって学力スタンダードを各学年で全員が身につけさせる努力をしていきますので、ご家庭のご協力をお願いいたします。さらに家庭学習の習慣化、歯を磨くのと同じように毎日必ず勉強をするという習慣を身につけさせたいです。全国学力状況調査の平均値の高い県はどれも毎日「読む」「書く」「計算する」の3つの領域の宿題を必ず出しています。テレビを消して読書する時間の確保など、読書の習慣化にも是非ご家庭のご協力を願います。

② 新学習指導要領移行に向けた外国語教育

新学習指導要領で大きく変わったところは「読む」「書く」の2つの技能が加わったことです。挨拶・日常会話・ゲームやチャットなどオーラルを中心に進めてきた外国語活動から、聞く・話す・読む・書くという4技能を小学校段階から高等学校卒業まで一貫して体系的に進めるという点です。もはや外国語（英語）は理科社会と同じく10年間連続して学ぶ教科です。したがって特に高学年の外国語の授業では文字の識別や文構造理解も取り入れています。本来はさらに小学校で700語のボキャブラリーの習得を目指さなくてはなりません。これらの面において十分な成果が見られていないという評価をいただきました。小学校の外国語教育の先にあるのは、日常会話をネイティブのようにできるということよりも、英語で科学を学び仕事に英語が使えると考えています。その意味において「聞く」「話す」よりも「読む」「書く」が重要になってきます。指導していてローマ字の基本を徹底することがいかに大事かと痛感しています。おおよその母音子音から未知の英単語を識別・予測することが英文を読む上で不可欠です。プログラミングの基礎的スキルとしてのローマ字入力も含めて丁寧な指導を進めます。私自身も（6年生）指導者の力量という点で厳しい評価をいただきました。素直に受け止め、指導者自身の英語力の向上と指導力の研鑽に努めます。

③ 児童に寄り添った指導・いじめ対応

本校のいじめ防止基本方針に沿って、苦しんでいる子を守るという姿勢を全職員一丸となって進めてまいります。いじめが疑われる案件は、大きなけがや登校しぶりなどの案件とともに、その日のうちに（場合によっては発見と同時に）児童支援コーディネーター、教頭・校長が情報を共有できる体制をとるようにしました。些細な情報や心配な案件はすぐに報告連絡相談を受け、校長のリーダーシップで解決に向けて行動することを約束します。また、安易に楽観視することなく児童支援コーディネーターの江崎を中心に経過観察します。いかなる理由があってもいじめはあってはならないという方針です。

いじめの発生しにくい雰囲気というものがあると思っております。例えば男女で学級目標に向かって協力し合う、担任らが学習の楽しさを味わわせる、人権に配慮した雰囲気、公平公正な雰囲気などです。未然防止につながる子どもに寄り添った指導をどの学級でも目指していきます。

貴重なご意見をご記入いただき誠にありがとうございました。紙面の都合上、内容を要約し常体で記載させていただきます。ご趣旨が的確に要約・反映されていない場合もあろうかと思いますが、原文の内容を全職員で共有し大切に保管させていただきますのでご容赦いただきますようお願い申し上げます。

現時点での成果に関するご意見 ※同様のご意見は集約させていただきました。 楽しく学校生活を送っていることに感謝（同様8）トラブルに子供の気持ちを汲み取って迅速に解決（同様4）縦割り、少人数ならではのつながりの良さ（同様4）校長をはじめ先生方の温かい姿勢（同様3）校長をはじめ学校全体がいじめを許さない姿勢を感じる（同様2）校長の熱意を感じる（同様2）いじめ問題解決に向けての丁寧な対応（同様3）先生方が熱心に教育（同様2）子どもたちの成長が見られる行事（同様3）子どもたちが学校行事を楽しみにしている（同様2）家族・親戚まで 行事を楽しみにしている（同様2）学習発表会、柿生中吹奏楽部が良かった（同様4）本年度の形の学習発表会が良かった（同様15）学校・地域・保護者の連携が感じられる（同様2）地域の特性を生かした教育が行われている（同様2）校長が校長室だよりで考えを伝えている（同様3）学習発表会の保護者席のルールが良かった。（同様2）先生方の授業への取組に好感が持てる（同様2）
--

改善に向けたご意見	校長による回答
地域の特色を生かした学習が多く 学力の低下が心配	特色あるカリキュラムと同時に日本全国どの学校でも学ぶ内容やスタンダードに差がないようにすることが義務教育として公立学校として求められます。新学習指導要領に準拠し岡上の特色を生かした総合的学習の時間だけでなく、来年度よりプログラミング教育の実践も進めます。したがって体験学習も精選します。
行事が多く 基礎学力の低下が心配	「読む・書く」言語活動と算数の学力向上のための具体案を検討しています。
岡上の地域を意識しすぎ（3）	
地域に遠慮しすぎて職員にも負担が大きいのでは（3）	地域に支えられているという感謝の気持ちに変わりはありません。ただし、これからを生きる子供たちの資質向上を第一に考えた体験活動や行事の見直しも必要と考えています。
公開日などに近隣の方も学校に入り易い配慮を	地域の方にも案内をお渡ししています。開かれた学校と児童の安全のバランスを考えて配慮していきたいと思ひます
英語学習の充実を図ってほしい	来年度は中学年及び高学年で授業数を増やし、内容も先行して新学習指導要領に準拠して進めます。
6年英語の授業はすべて外国語で行ってほしい	ご指摘の通りです。授業者の力不足を反省し、英語力の向上に努め、指示を英語で伝えることを大事にしていきます。ご理解いただきたいのは、指導要領でオールイングリッシュが必須とされておらず、それに必要なCEFRのB2以上の英語力を全教科をすべての小学校担任に求められるのは正直厳しいです。
トラブル解決を学校に任せるだけでなく家庭もフォローが必要	例えば登下校時の安全や放課後・休日の過ごし方など、学校の管理に限界もありますので、家庭教育と連携して進めていただけることを望みます。
日常におとなしくしている子にも悩みがある	穏やかに見えても力関係が固定化している可能性があります。担任のリーダーシップと人権教育の実践でどの子も安心して意見の言える学級づくりに努めます。
強い子が無理やり意見を押し付けてくることがある	休み時間、教室移動の時間なども目を配るとともに、一人一人の意識を高める教育を推進します。
先生たちの見ていないところでいじめがある	
いじめの根絶の難しさを感じる	いじめには当事者が意図せず相手にいじめと感じさせる場合と、意図して排除したり差別したりする場合があります。明らかな後者については許せないことですが、前者のケースも多く、その場合いじめられていると感じている子の気持ちを十分に理解しなくてはなりません。学校はまずいじめを受けていると感じている子を守るという姿勢で取り組んでいます。そのうえで、双方に寄り添った継続的対応が必要と考えています。ご指摘を反省し、継続してどの子にも愛情をもって見守っていきます。
児童に寄り添った指導が行われていない	
いじめへの対応が（被害者の立場で 聞き取りも十分でなく）一方的である	
運動会 保護者から競技が見えにくい 正面の本部テントが邪魔である。	本年度も正面の配置について昨年と変更して立ち見スペースを多くしましたが、来年度はテント等の位置を工夫して正面の立ち見スペースをさらに拡げます。敬老席は申し訳ありませんが横にずらします。来賓席は例年通り確保させていただきます。係り児童テントも倉庫側にずらし、全体の整列ラインを下げます。
バザーの保護者の負担が大きい（2）	ご負担をおかけして申し訳ありません。PTA本部と協議して考えていきます。
中学校の英語の発表などを聞かせるのはどうか	中学生の英語スピーチでは小学生には難しいですが、児童が英語に親しめるアイデアを工夫していきます。
学習発表会の保護者席のルールが分かりづらい。	職員は児童の指導と活動の観察を優先しますので保護者席の担当を係として配置することはいたしません。文書・掲示・放送などでわかりやすい説明を工夫いたします。
行事が秋に集中、土曜日の公開が3回は多い（2）	本年度土曜日の公開が集中したことは反省しています。来年度は年間計画を工夫しますが 秋に複数の行事が入ることはやむをえなくなることもご了承ください。
丸山下草狩りを中止すべきではなかった。夏祭りのための負担を地域にかけた。	危険な災害レベルの外気温と認識し野外での活動全般を中止と判断いたしました。結果的に地域にはご迷惑をおかけしました。
町田市の事件の情報がメール配信されていなかった（2）	当日は麻生区指導課を通して事件の概要は把握しており、(捜査上の問題もあったようで)安全と判断したため学校独自のメール送信はしませんでした。 管理職は隣接の町田市警察メールの登録を行いました。
民間の登校下校を知らせるメールシステム導入を考えてはどうか	民間企業のメールシステムの導入は麻生区でも複数校ありますが、問題点もあるようですので慎重に考えていきます。
先生たちの異動入れ替わりが残念、卒業生が会いに来て寂しい思いをしている	卒業生が訪ねてみえたり、去る職員を惜しんでくださったりする岡上の皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。しかし、人事異動は全市の教育の活性化に必要なものです。着任者は地域をしっかりと勉強し一日も早く岡上の一員として頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。
学年の編成、担任の配置に問題が感じられる。	ご不満は重く受け止めます。1年から6年、個別指導室もどれも等しく大切であると考えて配置しています。全職員で子どもたちを育むことに努めてまいります。

ご意見は賛成反対の意見の分かれる部分もありますが、児童の成長にとって最善は何かを判断基準として来年度の学校経営に反映させていただきます。学校教育推進会議で委員にもご意見をいただきました。 職員 児童のアンケート結果を含めて2月22日（金）学校報告会でご説明いたします。